

五所川原第一高等学校 令和4年度 1学年だより「水平線」

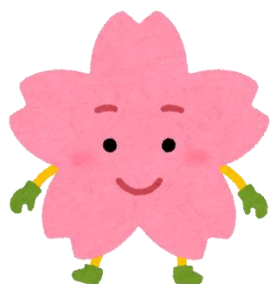
第2号(通算第2号) 令和4年4月15日発行 文責:第1学年主任 柏崎健太郎

学年集会で2つのことを伝えました

今までの学び舎を離れ、4月から新しい環境へと変わり、今週は初めて月曜日から金曜日までを休みなく過ごしました。慣れない環境から体調を崩す生徒も数人おりましたが、大きな混乱もなく1週間が終わったことにほっと胸をなでおろしています。

さて、4月11日(月)5校時に体育館で第1回学年集会を実施しました。その場で学年主任として2つのことを新入生たちに伝えました。

(1) 学年の目標は「お互いがお互いを認め合い、自分らしさを大切にすること」



この時代を生きる上で、多くの人たちが私たちと一緒に生活していることをまず伝えました。考え方が異なる人もいれば、自分の考えをうまく伝えられない人もいます。また、性別のことで悩んだり、勉強でのサポートを必要としたり、悩みや不安なことは時が進むにつれ増えてきます。

また、コミュニケーションの取り方も10~20年前までと比べてみても大きく変わってきています。LINEやtwitter、インスタグラム等のSNSは、気軽に会話ができるようになった一方で、誤解を生みやすい表現も多くなりがちです。

「ことば」の大切さを知り、ちょっとだけ周囲の人に思いやりをもって過ごすだけで私たちの生活は快適になることを丁寧に伝えました。

(2) 高校生活を過ごすうえでわかりやすい目標を設定すること

将来の夢や希望を持つことは大切なことです。私たちは、目標をもって努力していくことで、「頑張るぞ!」というやる気が満ち溢れてきます。

それは、「部活動で地区代表選手になる!」「期末考査で80点以上取る!」などどんなことでもよいのです。ただし、それは分かりやすく達成しやすいものだとよりモチベーションも高まります。

改めて、1学期の目標や1年間の目標など、これからの自分を律するために目標を設定することを伝えました。



〇〇〇 学年集会の生徒たちの感想 〇〇〇

(1人目の生徒)

一年生のうちにこれからの目標を決めておくことが大事だとわかった。コミュニケーションの取り方は多様化しているから使い方に気をつけないとだめだと思った。学校生活を快適に過ごすには「学校のルールを理解してその中で自由に元気に過ごすこと」を大切にしたいと思った。

(2人目の感想)

中学校の時よりも思いやりをもってより過ごしやすい高校生活にしようと考えました。そして、言葉には以前よりも気をつけて、あいさつは明るく元気にしようと思いました。楽しい高校生活にするためにも規則正しい生活を心掛け、目標を決めて一生懸命頑張ろうと思いました。

(3人目の感想)

自分はそういう風に送ったわけではなくても、その送られた人はどう感じるかわからないから、そういう勘違いするようなことは送らないようにしようと改めて思った。

(4人目の感想)

主任が言っていたことを当たり前と感じず、とても難しいと思い、中学校ではとてもゆるく生活してきたんだなと思いました。中でも進路目標を決めることが一番大変だと思った。

(5人目の感想)

人に思いやりをもって行動することがみんなと過ごしていく中でとても大切なことなのだ、改めて感じました。そして、学年目標であるお互いがお互いを認め合い、自分らしさを大切にすることを入念に入れ、人とコミュニケーションをとり自分の考えをだめだと決めつけず、尊重していけるように努力して頑張っていきたいと思いました。

※生徒の内容を基本的に載せていますが、表現を一部修正している箇所があります。

来週の日程

4月18日(月) 情報ビジネスコース集会、委員会組織会

4月19日(火) 通常授業

4月20日(水) 尿検査

※朝の提出を忘れないように!! 提出できない特別な事情がある人は担任へ申し出を

4月21日(木) 通常授業

4月22日(金) ①～⑤授業、⑥第1回防災訓練

4月23日(土) 1年全クラス模擬試験(基礎力診断テスト、スタディサポート)

